

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/8/7 ～2017/8/31)

1. 勉学の状況

● Intensive Summer Course in Academic English(8/14～8/25)

8月の14日から2週間にわたり9月からこちらの大学で留学をする学生向けに英語の授業がありました。この授業は英語で授業を受ける留学生が対象で、論文の読み方。英語でどのようにプレゼンをするか。エッセイはどのように書けばよいか。ディスカッションの練習。などといった英語で授業を受ける際に直面すると思われる場面を想定して授業が行われました。どれをとっても日本での日本語で受ける授業とは異なる点が多いため、とても参考になることが多かったです。また、今の自分の弱点を知る良い機会となりました。それと同時に今年の前学期に学部の英語で開講されていた専門科目を受講していてよかったとも思いました。やはり英語で授業を受けるという経験は日本にいる間にもできる限りするべきだと思います。学期が始まる前に生活に慣れるとともに友達も作ることができたのでこのコースを受講してよかったと思います。後にも書きますが、この大学は留学生の受け入れ体制がとても整っていると感じます。ちなみに、このコースの受講者は全体で30人ほどでしたが半分を日本人と韓国人が占めていました。

2. 生活の状況

こちらへ来て最初の月なのでいろいろ経験しました。内容がごちゃごちゃしないように箇条書きで書いていきたいとおもいます。

・**チューター制度**：こちらの大学では交換留学生にチューターがついてくれます。具体的にはユヴァスキュラに着いてからアパートまで連れて行ってもらいました。また、キャンパスや街を案内してくれたりもします。そのほかにも何か困ったことがあったら連絡できるようになっています。

・**住居**：大学が提携している(?)アパートに暮らしています。フラットメイトは三人いて一人はスペイン人、もう一人は日本人です。各々の寝室があり、キッチン、シャワールームは共有するタイプです。スペイン人のフラットメイトはとても性格が日本人っぽいので特に生活をしていてストレスを感じることはありません。隣の部屋のスペイン人はとても賑やかです。またこのアパートには共用のサウナがついています。とてもリラックスできる空間なので時間があれば使うようにしています。

・**ホームステイ**：Family Friendship Program という制度があります。このプログラムに申し込みをするとホームステイファミリーを見つけることができます。どのくらいの頻度で会うか、何をするか、などはすべて自由です。僕は学校の先生をやっておられる夫婦とかわいいお犬さんがいるお家にお世話になることとなりました。

・**インターネット**：この留学を見据えて日本で SIM フリーのスマホに変えておきました。結果とてもよかったと思います。こちらに来て SIM カードを差し替えるだけで特にインターネットで困ることはありませんでしたし、チューターの人ともすぐに連絡がとることができました。何人かの日本人の友達は結構この辺の問題に関してとても苦労していたので、個人的には SIM フリーのスマホを日本から用意しておくといいのかなあとも思いました。

・**言語**：行く前からある程度はわかっていたのですが、やはりフィンランド人の英語の運搬能力はとても高いなと日々感じます。基本誰でもある程度は英語を話せます。髪を切りにいった際も全く問題なく会話を楽しめましたし、とても素敵な髪形にしてくれました。ただ一方で最初はどこへ行っても基本的には現地の人たちにはフィンランド語で話しかけられるため、日に日にフィンランド語を使えるようになりたいという気持ちが高まっています。9月からのフィンランド語の授業を頑張っただけでもしゃべれるようになればいいなと思っています。また第二外国語をもう少し極めておけばよかったと少しばかり後悔しました。スペイン語、ドイツ語、イタリア語などどれか一つでもある程度できるとまたいろいろと幅が広がると思います。

・**フィンランド**：男女平等で有名なフィンランドですが、日中はやはり育児をしている男性をよく見かけます。とても微笑ましい光景です。自然も豊で景色も素晴らしく時間の流れもゆっくりと感ずることができ、本当に平和な場所に来たと感じます。こちらに来て少し驚いたことは、日本と比べ環境問題への意識が高いことです。ごみの分別はとても細かいし、スーパーに行くとき使ったペットボトルをお金と交換できるリサイクルのシステムがあつたりします。これはヨーロッパ全体で共通していることかもしれませんが、環境への意識の高さを感じることがよくあります。ちなみに8月の気温は大体 15°C~20°C くらいで太陽は6時ごろに出て21時頃に沈みます。さすがにちょっと疲れました。

ほかにもいろいろ書きたいのですがそれほど重要なことでもないの今回は割愛したいとおもいます。文章を書く力が著しく低いのですが、これからできる限り頑張っただけ毎月の報告書を書こうと思います。

それでは失礼します。



森の中を散策しました。



湖がとてもきれいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/9/1 ～2017/9/30)

1. 勉学の状況

下旬にかけて徐々に授業がスタートし始めました。

・ Finnish1

フィンランド語の授業です。週に 3 回授業があり、ほかの授業と比べて授業数がとても多いのですが、学んだことがすぐに日々の生活に活かされることや、授業自体が楽しいこともあり苦痛には感じません。また、フィンランド語は未来形、前置詞、冠詞が無い点において日本語と少し近いように感じるため、僕にとっては今のところは英語よりも簡単に思えます。フィンランド語は他のヨーロッパの言語とも大きく異なるため、よく世界一難しい言語と称されることがありますが、変に先入観を持たなければ日本人にとってはそれほど難しくないのではないのかと思います。ただ今のところは、ですが。来月に前言撤回するかもしれません。

・ Introduction to Finnish History

フィンランドの歴史について学ぶ授業です。せっかくフィンランドに来たのなら、やはりこの国についてはできるだけ詳しくなりたいので、歴史は苦手で、最後に本気で勉強したのは中学生の時だと思われそうですが、頑張って授業を受講しています。ちなみにフィンランドは今年で独立 100 年を迎えます。独立記念日は 12 月 6 日です。

・ Intermediate Microeconomics

28 日に授業が始まったばかりなのでまだ 1 回しか授業を受けていません。内容としては千葉大で学んだことがあるのですが、先生の研究内容や、授業の進め方などがおもしろそうなので受講することにしました。1 回目の授業からペアワークがあったり、大教室でゲームをやったりとなかなかユニークな授業をするので最も楽しみにしている授業です。

・ Academic English Communication

こちらはまだ 1 回しか授業は行われていません。基本的には 8 月に受けていた英語のコースと同じだと思われそうです。ただ前回の夏のコースよりも学生の出身が多様であるため、より有意義な時間が過ごせるのではないかと考えています。

2. 生活の状況

9 月中旬の週末にフィンランド人の友達の Summer Cottage に遊びに行かせてもらいました。フィンランド語では Summer Cottage のことを Mökki と言います。日本でいうところの別荘に当たるものだと僕は解釈しています。フィンランドの多くの家庭は Mökki を持っているそうで

す。ちなみに招待してくれたフィンランド人の友達はこちらの大学の学生で、10月から千葉大で1年間留学します。背が高くて、筋肉ムキムキで、少し見た目いかつい、青い目をした短髪の学生が歩いていたらもしかしたら彼かもしれないので、ぜひ声をかけてみてください。とてもフレンドリーでいい人です。こちらの大学は5月の中旬ごろに授業が終わるので日本に帰ってからまた会えるのをとても楽しみにしています。

さて、このMökkiについてももう少し紹介していきたいと思います。まずMökkiへ向かう途中で井戸から水を汲んで持っていきました。Mökkiには水が通っていないので（一般的に言えるかどうかはわかりませんが。）全部で10リットルほどをMökkiまで運びました。



そして、山道を通っていざMökki到着です。



絵本の中にいるみたいでした。



建物の向かいには湖があります。

Mökki は日々の生活から離れ、解放される場所です。そのため、周りから自分たちの声以外に何かの音が聞こえてくることはなく、ここではケータイの電波すらあまりよくありませんでした。

その後、料理班と火おこし班に別れてそれぞれ作業をしました。僕はもう一人のフィンランド人の友達と料理をしました。ちょうど前の週に出張でこちらに来られていらしゃった千葉大の先生からいただいたカレー粉を使って日本のカレーライスと、こっちで調達した麺を使って焼きそばをつくりました。先生ありがとうございます。フィンランド人の友達ふたりとも、とても美味しかったと言ってくれました。フィンランドはお世辞にも料理がおいしい国とは言えないので、多少料理がうまくなくても、日本食を作るととてもおいしそうに食べてくれます。



やきそば (もどき) です。



カレー美味しかったです。(カレー粉を持ってきてくださった先生に感謝です。)

一方で火おこし班はサウナとホットタブを温めるために火おこしをしていました。僕は料理をしていたので詳しくはわかりませんが、湿気が少し多かったため、火おこしにかなり苦戦しているようでした。このように原始的な方法でサウナを温めます。



まさにサバイバルといった感じでした。

そして、夕食を終えてから、サウナに入りました。サウナに入って、湖で泳ぐ。というのがよくあるフィンランド人のリラックス?の仕方です。この時、時間は夜の12時近くで外はとても寒かったのですが、僕も挑戦してみました。やはり、サウナに入っていた後とはいえ、湖はとても冷たかったのですが、なぜだか大変楽しくて、何度もサウナと湖を行き来しました。確かに体がリラックスしているのを感じることができました。

ふと空を見上げると、星空が満天に広がっており、その星々が湖に映っているのが見えました。周りから音が聞こえてくることはなく、本当に日本とは違う場所に来たのだなと感じました。

フィンランドに留学する人も、そうでなくて来る人も、Mökki へどうにかしていくことをおすすめします。できればフィンランド人と。素敵な経験ができること間違いなしです。

少し長くなりましたが以上で今月の報告書を終わりにしたいと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/1 ～2017/10/31)

1. 勉学の状況

- Finnish 1

徐々に内容が難しくなってきましたが、それに伴って、普段の生活でフィンランド語が理解できる場面や、話せる内容が少しずつ増えてきました。クラスメイトは優秀な人が多く、自分の出来なさに授業中は少し落ち込みますが、家に帰って宿題や授業の復習をしているときや、日常生活で使うときはとても楽しいです。個人的にはフィンランド語はパズルみたいな感覚で勉強できるのでとても楽しいです。一つ一つの単語が長いのが少し厄介なところではありますが。

- Academic English Communication

10月いっぱい授業でした。授業の中でプレゼンやディスカッションなどをおこないました。それ以外にもエッセイの課題があるなど、10月はこの授業のために多く時間を割きました。クラスメイトは夏休みの英語の講義の時より多国籍だったため、よりいろんな人とかかわることができたと思います。

- Microeconomics

こちらの授業は、最初の数回こそ、学生同士で話したりする時間が多かったのですが、徐々に先生が一方的にしゃべり続ける時間が徐々に増えてきたため、少し退屈を感じる時間が増えてきました。ただ、経済の授業は基本的にはそういうスタイルなので、最初の数回は例外的だったのかもしれませんが。この授業は週に2回 moodle を通してテストを受けなければならいので、毎回の授業は気が抜けません。でもなんだかんだ言って経済の勉強は好きなので楽しいです。

- Each One Teach One

ペアを見つけてお互いの言語を教えあうコースです。どのように学ぶか、いつ会うか、などは基本的に自由で講義形式のコースではありません。毎回の授業終わりにその日の授業内容についてブログを書いて担当の先生に提出します。かねてから韓国語を学びたかった僕は最初韓国人の友達とやる予定でしたが、いわゆる“ドタキャン”されたため、フィンランド人の友達と今月からスタートしました。週末には日本料理を作ったりしながら料理に関する日本語を教えたりしています。

2. 生活の状況

今月は下旬からついに雪が降り始、日照時間もとても短くなってきました。1週間ほとんど太陽を見ることがないこともあり、最初は予想以上に気分が落ち込みましたが、今はすっかり慣れてほぼ問題なしです。冬は冬で楽しめることはたくさんあります。

こちらに来て2か月以上たちましたが、よくも悪くも生活に慣れてきて、最近友達とも、生活が単調になってきてるよねー。という会話をします。また少しずつ新しいことにチャレンジしていこうと思っています。

週末にフロアボール（フィンランド語では Salibandy と言います。）の試合を観戦しに行きました。フロアボールは北欧発祥と言われており、主にスウェーデン、フィンランド、スイスあたりで人気で、アイスホッケーと似ているスポーツです。正直に言ってあまりこのスポーツのことは知らなかったのですが、楽しめるかどうか不安でしたが、どの場面を切り取っても僕にとって新鮮な場面ばかりで、結果とても楽しかったです。

フロアボールは名前からわかるように、屋内で行うスポーツです。コートの大きさはバスケットボールやハンドボールと同じくらいで、コートに立てるのはフィールドプレイヤー5人とゴールキーパーが1人です。運動量のとても多いスポーツのため交代は自由に行えます。ルールは簡単で20分のゲームを3ピリオド行い、より多くの得点を決めたチームの勝ちです。



このスポーツの何が面白いかというと、まずコートから考えて、スコアがバスケットボールやハンドボールのように点数が大きくなりそうなのですが、実際はあまり得点が多く入ることはなく、1点の重みが大きいところです。

しかし、一方で、試合の展開自体はサッカーと似たような部分があり、後方からボールを回して攻撃を組み立てていく面があります。ただ、サッカーよりも、展開が早いため、よりゴール前の場面が増え、ドキドキする展開がたくさん見られます。

またアイスホッケーほどのコンタクトはないのですが、ある程度のコンタクトは認められているため、かなりエキサイトします。そのため、両チームの選手の気持ちがよくプレーとして表れるため、見ている観客もおのずと力が入ります。





上の2枚の画像はサッカーでいうところのPKの場面なのですが、フロアボールでは止まっているボールをシュートするのではなく、真ん中のラインからボールを自由に運んでいき、ゴールを決めます。ゴールキーパーと自由に一対一をするわけですが、選手のいろいろな駆け引きが見られて華麗な技術を見ることができます。これはアイスホッケーと似ているようです。

そしてなによりも会場の雰囲気がとてもよかったです。人口13万人のユヴァスキュラの街ですが、会場には700人以上のお客さんが集まり(町の規模を考えれば多いと思います。)、アットホームな雰囲気が会場を包んでいました。チームのスポンサーには町の飲食店などがついており、中には日本人として、ん? となるレストランもを見つけることもありました。



Ravintola とはレストランという意味です。タイ、寿司レストラン。どんなレストランなのでしょう？ タイ料理好きなので今度行ってみたいと思います。やはり寿司のブランド力は強いのかもかもしれません。

とにかくにも、サッカーとバスケットを観るのが好きな私にとっては、フロアボールは両者の良いところを取ったスポーツでとても観ていて楽しいスポーツでした。また機会があればほかのスポーツも見に行きたいとおもいます。

11月も寒さと暗さを楽しみながら生活したいと思います。最後まで読んでいただきありがとうございました。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/1 ～2017/11/30)

1. 勉学の状況

- Finnish1

いよいよこのクラスも終わりに近づいてきました。月末にはスピーキングとリスニングのテストがありました。来月の最初のクラスでリーディング、ライティングの試験を受けてこのコースは終わりです。この授業でしっかりとフィンランド語を勉強したことで、日々の生活に新たな楽しみが多く生まれました。ちなみに、この間は街で友達との待ち合わせの待ち時間に、知らないおじさんにフィンランド語で話しかけられ、それが理解できたので調子に乗ってしゃべっていたら、どうやらナンパだったようで、ちょっと変なことをいろいろ聞かれました。5分ほど話していたのですが、その間ずっと手を握られてました。ちょっと変な経験でしたが、楽しかったです。

- Microeconomics

この授業経済の理論と同時に、現実の社会でどのように経済の理論が応用されているかを考えることにも重点が置かれています。授業のタイトルとしては経済理論をしっかり学ぶのかなと思っていましたが、どちらかというと「応用ミクロ経済学」という名前のほうが良いような気がしなくもないです。実際にあった宿題では、北欧圏の電力の需要と供給のデータを使って電力の市場を分析する課題や、ベーシックインカムを導入すると、経済や個人の行動がどうなるか、経済モデルを使って分析をするものもありました。

- Basic course in Statistics

名前の通り統計の科目です。千葉大では数理統計が専門の先生のゼミに所属しているため、統計学科の科目をとっています。内容としては統計の基本的な内容なのですが、英語で統計について勉強することにまだ慣れることができていません。経済の授業も最初はもちろんそんな感じだったので、あまり心配はしてませんが、少しでも早くなれるように頑張りたいです。

- Each One Teach One

こちらのコースは先月の報告書でも書いたように、自分たちで授業を設定できるため、いろいろと工夫をしてフィンランド語を勉強しています。今月はフィンランド人とスポーツをするときに使えるような単語やフレーズを教えてもらい、実際に大学で開かれているスポーツクラブのようなものに参加し、実際にフィンランド人とスポーツをしました。ちなみに、先月の報告書で書いたフロアボールに挑戦しました。初心者向けのコースがあるため、気軽に参加できましたし、フロアボールは実際にやってみてもとても楽しかったです。久しぶりにスポーツに夢中になることができました。ちなみに、来学期からこの大学の“ス

ポーツクラブのようなもの”(まだ仕組みがよくわかっていません)に参加して、フロアボールを定期的にやりたいなと思っています。ほかにも、日本語の授業をやるときは、フィンランドを舞台にした映画「かもめ食堂」を使って日本語の授業をしたりもしました。

2. 生活の状況

着々と気温は下がり雪の降る日が多くなり、外は暗くなってきました。今月は下旬から徐々に街がクリスマスモードになりはじめました。街のお人形もクリスマスの衣装に衣替えしていました。



置物にいたずらしてしまうのはどこの国も同じようですね。

今月は何か新しいことを始めたいなと考えていたのですが、2つのことを新しく始めてみました。

まず1つ目ですが、一時的にベジタリアンになってみました。意味わからないですね。フィンランドに来て驚いたことの一つとして、ベジタリアンの人がたくさんいることです。現地の人だけでなく、留学生にもベジタリアンの人は意外と多いなと感じました。また、フィンランドは食堂からマクドナルドまで、ほとんどの場所でベジタリアンメニューがあります。そんなことから、ふとベジタリアンについて興味を持ったため、今月はベジタリ

アンになってみました。ちなみに、特別な個人的な主張があるわけではありません。ただ、ちょっとやってみただけです。最初はとりあえず 1 週間だけやってみようと思っていたのですが、予想以上に楽しかったので、月末になりますが未だ継続中です。軽い気持ちでなんとなく初めてみたこのベジタリアン体験ですが、想像以上に様々なことについて考える機会を得ることができました。例えば普段の自分の食生活について考える機会にもなりましたし、今までほとんど興味のなかった食に関する倫理的なことについても考えるようになりました。ちなみに、OECD の加盟国の中では日本は一人当たりの肉の消費量は少ないようです。個人的には意外に感じました。

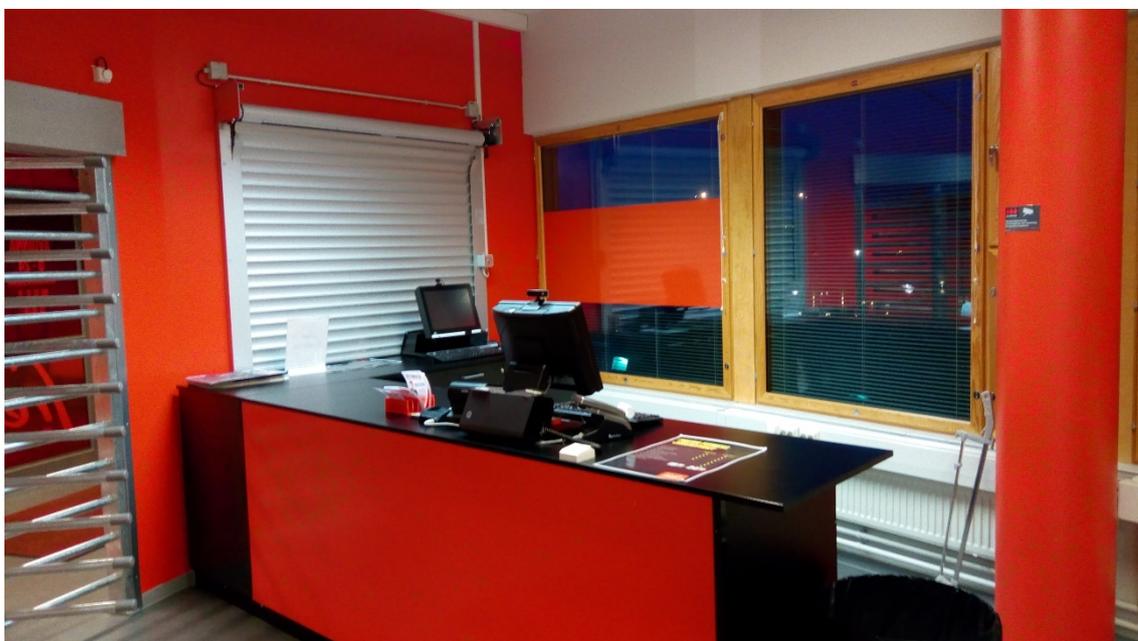


マックでもベジタリアンメニューがあったので食べてみました。



むしろ普段のマックのメニューよりもおいしかったような気がします。

2つ目に、運動を始めました。もっと具体的に言うとジムに行き始めました。大学にいるフィンランド人だけでなく、もっと幅広いフィンランド人を観察、あわよくばお友達になりたいと思ってジムに行き始めました。もちろん自分の健康のためにも。ちゃんと運動をするのは高校を卒業して以来だったので、最初は体中がひどい筋肉痛になりましたが、今はもう大丈夫です。ジムには本当にいろいろな年代、タイプの人があります。こちらに来て、フィンランド人はよく運動をしているなという印象を受けています。それとも、ただ自由に使える時間が多いだけかもしれませんが。ちなみにジムは日本よりも安いと思います。



土日も空いているのですが、受付にスタッフの人はいませんし、ジム内でもスタッフの人を見かけません。とてもフィンランドらしいなと思います。

かなり外は暗く、寒くなってきましたが、案外うまくこれらと付き合えているなと思います。来月も充実した生活を過ごせるように工夫して生活したいと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございます。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/12/1 ～2017/12/31)

1. 勉学の状況

今月は授業がほとんど終わっていたため、テストを受けただけとなりました。テストに関して日本の大学、少なくとも千葉大とは異なる点が2つほどあったので紹介したいと思います。

まず一つ目は、追試についてです。幸い私は追試を受けることがなかったのですが、多くの科目で追試が用意されていました。これに関しては良い面も悪い面もあると思いますが、先生や生徒を含めた大学全体の雰囲気として、追試を受けることに関してはそれほどマイナスなこととしてはとらえていないように感じました。

そして二つ目は、成績の開示の速さです。これに関しては日本の大学とは比べ物にならないくらい速かったと思います。経済の授業に関してはテストが終わった当日に結果を知ることができました。聞いた話によると、成績の開示が遅い場合、学生団体のようなところへ苦情を申し立てることができるそうです。教職員の方からしたら大変でしょうが、これに関してはとても良い制度だと個人的には感じました。

2. 生活の状況

今月は特に大学の外でいろいろなことを経験しました。

12月6日はフィンランドの独立記念日でした。今年で独立100年ということで今年フィンランドに留学した私は少しラッキーだったかもしれません。街中では様々なイベントが開かれており、とても寒かったのですがいろいろ歩き回ってみました。フィンランドの人にとって、やはり独立記念日は一年の中でもとても大切な一日のようです。



これは、持ち寄った、ろうそくで100の文字を書くイベントでした。友達と頑張って高いところから撮りました。

クリスマスはホストファミリーの家に招待していただき、一家の集まりに参加させていただきました。フィンランドのクリスマス料理を食べたり、みんなでゲームをしたり、お酒を飲んだりして過ごしました。そして、なんとといっても10年ぶりくらいにサンタさんからクリスマスプレゼントをもらうことができました。さすがサンタクロースの故郷フィンランドです。



ムーミンのマグカップと、暖かそうな靴下をもらいました。

そして、12月後半からは冬休みということで、旅行をしてきました。



まず一か国目がポーランド。昨年千葉大に留学していた友達に会ってきました。ポーランドは今回旅行した国の中で、個人的に一番気に入った国でした。ポーランドの人は基本的に無表情で感情をあまり外に出さないのが、一見怖そうですが、とてもやさしい人たちばかりでした。また、ポーランドの料理もおいしかったです。またいつか遊びに来たいです。



そして次に行ったのはハンガリーのブダペストです。自分でもよくわかりませんが、なぜかハンガリーはずっと行ってみたかった国の一つだったので、行って来ました。想像していた通り、ブダペストはとても美しく、今まで訪れたことのある街の中で断トツの美しさでした。ちなみに、ハンガリー語はフィンランド語と近い言語であるらしく、ほかのヨーロッパの言語とは少し系統が違うそうです。



ハンガリーの次はイタリア、ローマに行きました。小学生のころ、いろいろな理由から、イタリアがとても好きで、あまりにもイタリアが好きだったため、NHKのイタリア語講座でイタリア語を少し勉強したり、初めて作ったメールアドレスにイタリア語を使ったりしていました。そんな私にとってイタリアに来ることは人生の一つの夢だったのですが、今回その夢がかないました。少し感極まって泣きそうになりました。ただ、本当に当時の私が行きたかったのはローマではなくてミラノでした。



クリスマスを含んで、新年を祝うため、友達とベルリンへ行く途中にチェコのプラハへ行きました。プラハは世界で最も美しい都市のひとつと聞いていたのですが、天気がすこぶる悪く、あまり満足に街を回ることができませんでした。それでもプラハの街は中世の雰囲気を残した、今にも街から音楽が流れてきそうな美しい街でした。チェコはビールがおいしいことでも有名ですが、私はビール、というかお酒が全然飲めないため、その点においては全然楽しめませんでした。お酒飲めるようになりたいです。



そして、最後に新年をお祝いしにベルリンに来ました。せっかくヨーロッパにいるのだから、カウントダウンのイベントに参加しようと思ってきました。2017年は留学だけでなく、様々な点において、とても充実した年でした。ちなみに、ベルリンでは街中で花火を打ち上げるのは禁止なのですが、12月31日と1月1日だけは例外的に花火、爆竹を使うことが認められているようで、31日の夕方から1日の明け方まで、街中では次々と花火、爆竹の音が鳴り響き、異様な世界となっていました。ちなみに、そこらへんを救急車、警察の車が走り回っており、今年は2人死亡者が出たそうです。

最後まで読んでいただきありがとうございました。2018年はより良い月間報告書を書けるよう頑張りたいと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/1/1～2018/1/31)

1. 勉学の状況

- Suomi 2

先学期とっていたフィンランド語のクラスの続きです。コースの名前の英語 (Finnish) からフィンランド語 (Suomi) に変わりました。今月は主に1のコースで習ったことの復習でした。クラスメイトの中には、フィンランドですでに何年か過ごしている学生や、フィンランド語を根熱心に勉強している学生が多いので、彼らに負けないよう、先学期の1のクラスの時よりもさらに頑張らなければいけないなと感じています。

- Labor Market

労働経済学の授業です。数学的な経済モデルについて扱う一方で、実際のフィンランドや、ヨーロッパ諸国、日本のデータや社会保障政策などについて学ぶことができます。フィンランドは手厚い社会保障が有名であり、日本は労働環境についてよく社会問題になるなど、この分野の勉強は非常に身近なトピックであるため、講義は毎回興味深いです。

- Derivatives

少し勉強の面でチャレンジをしたかったので、修士課程の科目を取ってみました。この授業はファイナンスの分野なのですが、そこまでファイナンスの分野に関する知識がないことや、修士課程ということもあり、周りの学生はとても優秀なので、毎回の授業では、授業内容についていくのに必死です。ただ、内容的にもおもしろいのと、こちらの大学の修士課程のプログラムや学生の雰囲気も知ることができるので、非常にやりがいを感じます。

2. 生活の状況

年始の3日間は、昨年千葉大で交換留学をしていた、フィンランド東部のクオピオにある友達の実家にお邪魔しました。不思議なことなのですが、フィンランドのお家にお邪魔させていただくと、たとえそこが初めて訪れる家であっても、とてもリラックスして過ごすことができます。おそらく、フィンランドの家のデザインなどがとても自分には合うのかなと思っています。また、機会があれば、他の友達の家にも行ってみたいと思います。また、フィンランドが東西で、文化や地理など様々な点で違いがあるので、今回、東部の雰囲気も少し知ることができました。

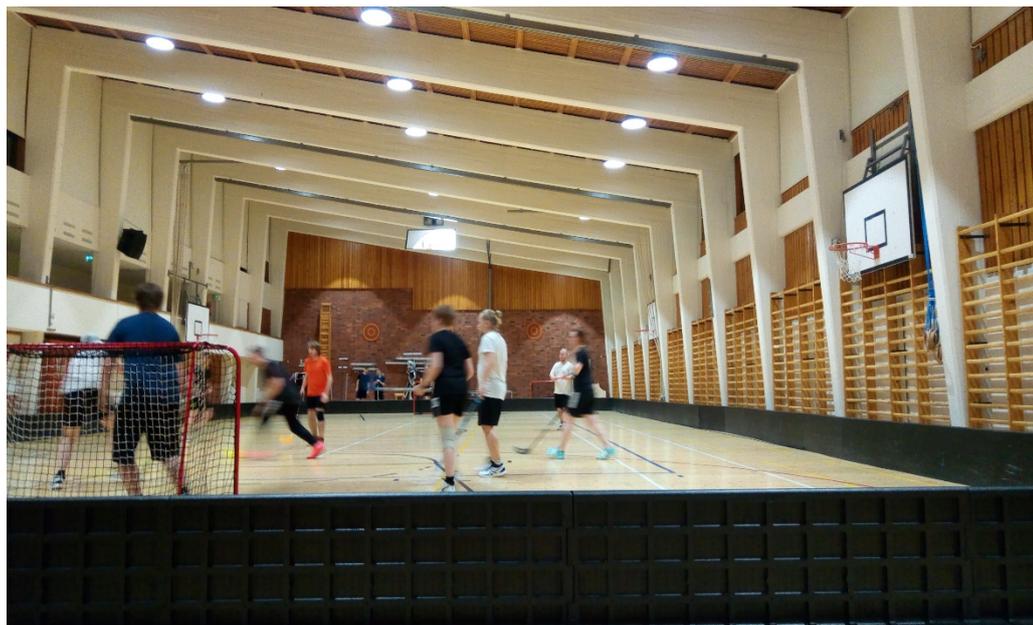


クオピオの辺りは湖がきれいなのでまた、夏に訪れたいです。

雪がかなり積もるようになってきたので、森の中などでスキーができるようになりました。雪景色がきれいなフィンランドの森の中をスキーで滑るのはとても楽しく、週末の良い息抜きになります。周りを見渡すと5歳くらいの子どものも本当に上手に滑っているので、たくさん転んでいる自分が恥ずかしくなります。



以前紹介した、フロアボールを始めました。こちらの大学には University Sports と呼ばれる、放課後に様々なスポーツができる制度があります。1 学期 40€払えば、どのスポーツにも参加することができます。私は火曜日に開かれている初心者向けのフロアボールに参加しています。ほかにも、バスケットボールやバレーボールなどもすることができます。



寒さピークに差し掛かってきましたが、ここまで体調を崩すことなくきているので、2月も元気に過ごしたいと思います。



日本のセンター試験にムーミンが登場したことがフィンランドの新聞にも載っていました。

最後まで読んでくださりありがとうございました。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/2/1 ～2018/2/28)

1. 勉学の状況

- Suomi 2

先月は主に1のコースで習ったことの復習でしたが、ついに今月から新しい内容を学び始めました。2のコースでは1のコースの時と比べて、接する語彙の数が格段に多いため、できるかぎり語彙の数を増やすことに力を注いでいます。また、日常生活の中でもフィンランド語が使える機会が着々と増えてきて、フィンランド人の友達との待ち合わせの約束などのやりとりなどはフィンランド語でするようになりました。

- Labor Market

こちらは先月から受けている労働経済学の講義ですが、授業は経済理論だけでなく、現実社会での例やデータなどを先生が紹介してくれるため、飽きずに授業を受けることができました。こちらのコースは今月ですべての授業が終わりましたが、試験は来月の中旬にあります。2週間ほど時間があるので、しっかりじゅんぴをして試験に臨みたいと思います。

- Derivatives

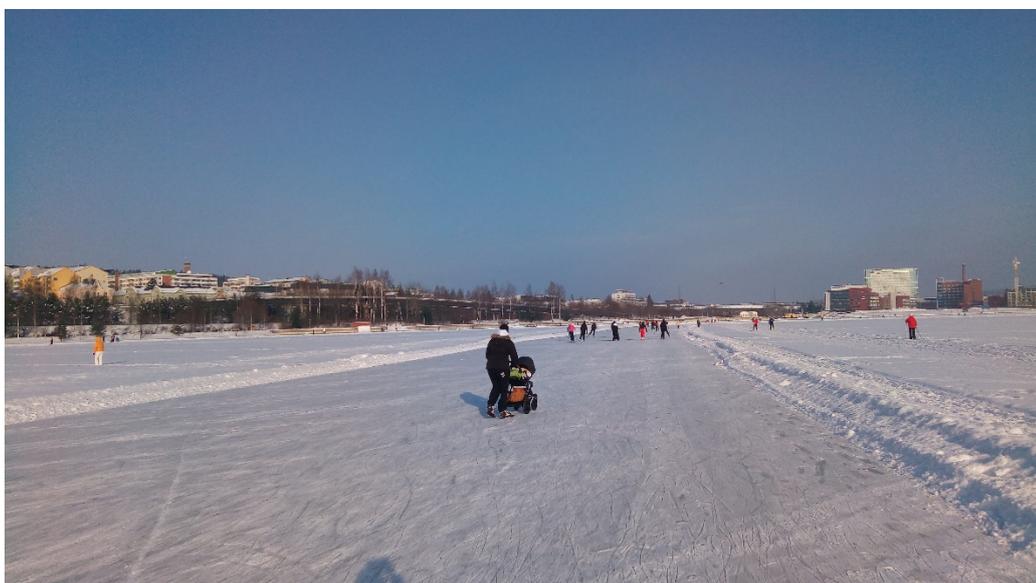
修士課程のファイナンスのコースです。こちらは授業、試験、課題ともに今月で終わりました。今月はこの科目の勉強に多くの時間を費やしました。もちろん授業についていくのに必死でそれなりに大変でしたが、なんとかやり切ることができました。思い切ってチャレンジしてみてよかったなと思います。

2. 生活の状況

二月に入り、街の中心にある湖が凍ってきたため、湖の上にアイススケートができるようになりました。もちろん無料で滑ることができます。



これまでに 4 回ほど滑りに行きましたが、回数を重ねるごとにどんどん上手に滑れるようになってとても楽しいです。また、良い運動にもなります。



なかにはベビーカーを押しながらスケートする人もいます。これはレアなケースではなく、よくこのような光景を目にします。夏にはベビーカーを押しながらランニングする人もよく見かけました。

今月は勉強のほうがかし忙しく、週末も家で過ごす時間がいつもより多かったです、来月は比較的時間が取れそうなので、いろいろなところへ出かけたなと思います。気温も徐々に上がってくるようなので、冬にお別れを告げつつ、春に向かってしっかりと準備をしていきたいなと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/3/1～2018/3/31)

1. 勉学の状況

● Suomi 2

最初は授業についていくのに必死だったこの2のコースですが、だんだん授業のレベルに慣れてきました。それなりの数の人が脱落していく中で、投げ出さずに我慢して続けてきてよかったと思います。今月はフィンランド人と10分～15分程度の会話をビデオ撮影して提出する、という少しハードな課題がありましたが無事にこなすことができました。8月にこちらに来たときはフィンランド語で自分が10分も会話できるようになるとは思いませんでした。残された期間はそれほど長くありませんが、引き続き頑張っていこうと思います。

● Stochastic Modeling

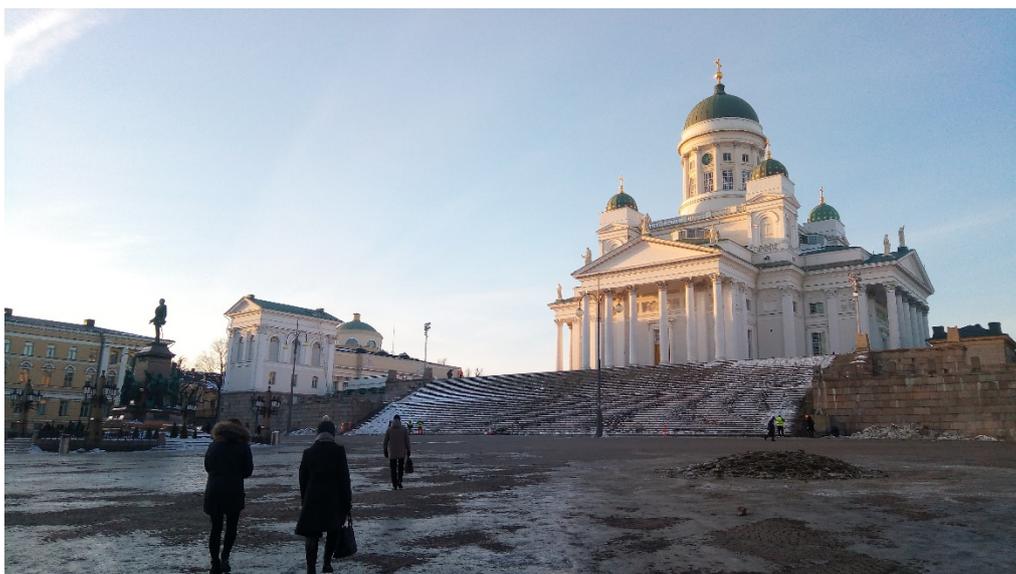
今月から新たに取組み始めた統計学のコースです。これまでマルコフ連鎖、マルコフ過程などについて学んできました。これからは、経済学の分野でも応用されているMCMC法などについても学びます。内容的には難しいですが、こちらの授業も頑張っておきたいと思っています。

2. 生活の状況

天気の良い日が増えてきましたが、寒さは相変わらずでした。今年は暖くなるのが例年よりも遅いそうです。

高校の同級生がこちらに遊びに来てくれました。ユヴァスキュラを紹介するだけでなく、ヘルシンキ、ストックホルム、コペンハーゲンと一緒に観光しました。

ヘルシンキはこれまで観光する機会がなかったのですが、さすがは首都ということで、おしゃれで美しい街でした。ただ、すっかりと人の少ないユヴァスキュラに慣れてしまっていたので、比較的人の多いヘルシンキは少し居心地が悪かったです。ちなみに、旅行をすると、無性にユヴァスキュラに帰りたくなります。



ヘルシンキからストックホルムまでは船で16時間かけて移動しました。船はとても豪華でタイタニック号のようでした。ちゃんとタイタニックの映画を見たことはありませんが・・・。



ストックホルムは以前にも訪れたことがあるので今回は 2 回目の観光でした。フィンランドとスウェーデンはあまり仲が良くないので、（とは言ってもそれほど緊迫した関係ではないですし、冗談くらいで言ってる面がほとんどだと思いますが。）あまりスウェーデンのことを褒めるとフィンランド人に怒られそうなので、ここではスウェーデンについてあまり書かないでおこうと思います。（もちろんとても良い国です。治安も良いですし、みんな親切です。観光資源も多くあります。）

次に向かったのがコペンハーゲンです。行ったことがなかったのでとても楽しみにしていたのですが、とても魅力的な街でした。



一概には言えませんが、これまで訪れたことのある、ノルウェー、スウェーデン、フィンランドと比べると、同じ北欧ですが、だいぶ雰囲気が違ったように思います。今回はあまり長い時間滞在することができなかったのですが、個人的にとっても気に入ったためまた機会があれば訪れたいと思います。

また、今月は私のホストファミリーが学校の先生をしているということで、学校を見学させていただけないか聞いたところ、快諾してくださったので、中学校の見学をさせていただきました。短い時間ではありましたが、日本とフィンランドの学校の違いなどを見つけることができたのはもちろんのこと、フィンランドの中学生の学校生活を見学することができたのはとても良い経験になりました。

残りの留学期間も残りわずかとなってきました。こちらでの1日1日の生活を大切にするとともに、日本に帰った後の準備も少しずつ進めていきたいと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/4/1 ～2018/4/30)

1. 勉学の状況

- Suomi 2

今月でこのフィンランド語のコースも最後となりました。2学期間、フィンランド語に関してはできる限り時間を割いて勉強してきました。こちらへ来る前はここまでフィンランド語ができるようになるとは思っていませんでした。これまでの報告書でも書いてきたように、フィンランド語を学んでいてよかったなと感じた場面はこれまでの留学期間中数えきれないほどありました。個人的には、現地の言葉を理解することは、その国の文化を理解するうえでとても重要なことだと思います。日本へ帰ってからも細々と勉強を続けていきたいと思っています。

- Stochastic Modeling

こちらは先月から受けている統計の授業です。授業は数式の展開についていくのに必死で、時々何をしているのかわからなくなることも多かったです。ベイズ統計の事後分布の推定方法であるMCMC法などについても学ぶことができました。まだまだ理解できていないことがたくさんありますが、日本に帰ってからの学習に役立てたいと思います。

2. 生活の状況

フィンランド人の友達が週末に帰省するというので、お願いをして実家にお邪魔させてもらいました。人口わずか8000人の町ということで、とてもとても田舎でしたが、友達の地元の友達に会ったり、普通っていた学校を紹介してもらったりと、とても楽しかったです。本当のフィンランドは田舎にあるのかなあと個人的には思ったりもします。ちなみに自然は相変わらず美しかったです。



↑こちらへんでよく遊んでいたそうです。



↑町の映画館です。2 作品だけ上映していました。

ホストファミリーのお母さんに、寿司の作り方を教えてほしいと頼まれ、ホストファミリーのお母さんのママ友グループと一緒に巻きずしを作りました。自分なんかで寿司の作り方を教えてよいのだろうか？とも思いましたが、とりあえず形にはなったので、OKということにしておきます。日本にいたときにバイト先で作り方を少し教わっていたが幸いました。今回のことに限らず、こちらに来てからこれまで、巻きずしの作り方を友達に教える機会は何度かありました。



↑巻き簾やのりは、こちらでも比較的簡単に手に入ります。



↑それなりに見栄え良くできたと思います。

今月は年度が替わり、高校の同級生は新社会人となり、大学の同級生は就職活動を本格的に取り組み初め、日本にいる自分の周りの友達の環境が大きく変わっていることを強く意識させられ、自分の目の前の勉強や生活に集中することが難しくなり、精神的にしんどい時期が続きました。ここまでの留学生活で精神面については特に問題がなかったため、最後になってやってきたか、という感じでした。そんなこともあり、今月はいつもより多めに友達と話したり、体を動かしたりさせ、気分を紛らわすようにしました。

こちらでの生活は本当に残り僅かとなりました。限られた時間を有効に使い気持ちよく日本に帰りたと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/5/1 ～2018/5/14)

1. 勉学の状況

先月で、授業、テストともに終わってしまっていたので、今月は以前紹介した Each One Teach one のコースを終わらせました。2学期にわたって Each One Teach one をやりましたが、フィンランド人の友達ができるだけでなく、フィンランド語はもちろんのこと、フィンランドの文化などについても詳しくなることができ、良かったです。

2. 生活の状況

5月に入り気温が急激にあがり、10日以降は半袖で生活できるようになりました。帰国前の時期は熱さで少しバテてしまいました。日本の夏を乗り切ることができるか少し心配です。

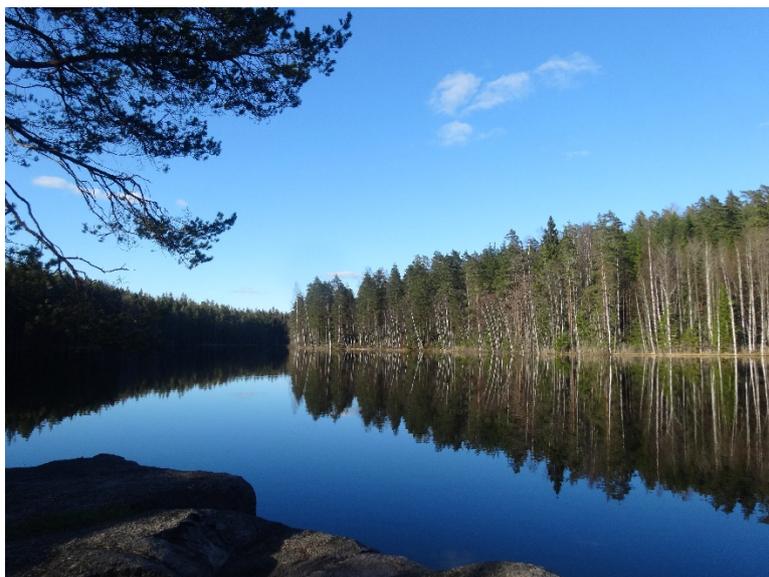
暖かくなってきたこともあり、友達と1泊2日のハイキングの旅に出かけました。フィンランドは自然環境が非常に豊であり、国内にいくつかの国立公園があります。今回はその中でも、ヘルシンキのお隣にあるエスポーという場所のヌークシオ国立公園というところへ行きました。



先述したように、天気と気温が程よく、フィンランドの自然を満喫するには抜群のコンディションでした。帰国前に心身ともに癒されました。



国立公園内には簡易的なバーベキュースペースのようなものがあり、火を起こしてソーセージを食べたりしました。また、バックパックには木でできたコップ（ククサと言います。↑写真の赤丸でかこってあるやつです。）を括りつけて運び、途中このククサでコーヒーを飲むのが一般的だそうです。ハイキング中に飲むコーヒーは意外なほどおいしかったです。



夜は湖のほとりでテントを張り、一晩を明かしました。今後、一つのテントの中、男4人で寝ることはないと思います。暑苦しかったです。



ハイキングの最後には、国立公園外の近くにあった湖で、サウナに入り湖で泳ぎました。まだ水温は低かったのですが、サウナ→湖で泳ぐ、は今後しばらくできる機会がないと思い、思いっきり泳ぎました。ちなみに、この湖はボドム湖という湖で、フィンランドでは有名な未解決殺人事件があった場所だそうです。この日は家族連れでにぎわっていました。

今月は私がフィンランドで過ごすことのできる最後の月でした。帰国日が近くなるにつれて、この場所を離れることへの寂しさと、帰国後の自分の人生への期待感が入り混じりとてもエモーショナルな1か月となりました。

ふりかえてみると、長いようで短い留学期間でした。様々な人と出会い、様々な経験をし、様々なことにチャレンジした9か月間でした。9か月の期間を終えた今、以前よりも自分は成長した、と自信を持って言うことができます。本当に留学をするという決断をしてよかったと思います。そして、自分に甘い私は、少し自分のことを褒めてあげたいと思います（笑）

今回の報告書が最後の報告書となりますが、これまでの報告書がこれからフィンランドへ留学をする学生にだけでなく、フィンランドへ何かしらの形で訪れる方々、興味のある方々にお役に立つことができれば幸いです。

最後に、私の素敵な9か月間の留学をサポートしてくださった、両大学の関係者の方々、友人そして家族に、この場を感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

それでは、またフィンランドに行けること、そしてこれからフィンランドへ行かれる方々が現地で素晴らしい時間を過ごせることを祈りつつ、最後の報告書を終わりにしたいと思います。

Kiitos! Nähdään!